

Inspectorによる放射能測定

1. 壊さないために

- (1) 汚さないでください。放射能で汚れると除染が難しいです。常にビニール袋に入れて。
- (2) 裏の45mm測定窓は雲母です。突っついたり凸部に置いたりすると壊れます。
- (3) 高地：2400m以上に持っていかない。雲母窓が破裂して壊れます。
- (4) 濡らさない、湿らせない。雲母が痛みます
- (5) 38度以上に晒さない、直射日光の下に放置しない

2. 正しい測定のために

Inspectorは α 線 β 線も検出します。

高感度で汚染場所を探すときは、45mmの窓で直接測定してください。

ただし、その時の数字は、線量としては使えません。使わないでください。

線量を測るときは、45mmの窓を10mm厚プラスチック板で被って、 α 線 β 線を遮蔽。

3. 空間線量の測定

空間線量は、 $\mu\text{Sv/hr}$ で測ります。

右上のスイッチを[mR/hr $\mu\text{Sv/hr}$]にし、右下のスイッチを On または Audio にする。

30秒ごとにピーブがなり、それから3秒毎に表示が変わります。

表示前30秒間の平均線量です。

4. 累積線量の測定

累積線量は [Total/Timer]で測ります。

4.1 累積時間の設定

右上のスイッチを [Total/Timer] に、頭にある Timer スイッチを [Set] にして電源を入れる。

砂時計マークと SET 表示 が出る。

＋ボタンで時間を設定する。単位は 時間：分

頭のスイッチを[On]にすると、タイマーが設定され測定が開始される。

所定時間の測定が終わると、砂時計の点滅が止まり、点っぱなしになる

表示はその間のカウント数

カウント数を Bq に変換するのは別途

カウント数を $\mu\text{Sv/hr}$ するには、

カウント数を累積時間で割って、分当りに直す。分当り 334 カウントで $1\mu\text{Sv/hr}$

4.2 繰り返し測定

Timer スイッチを Off にし On にすると測定開始する。

4.3 空間線量との同時測定

測定中に Time スイッチを Set にすると、表示は $\mu\text{Sv/hr}$ になる。

この間累積カウントも行われている。